

令和 8 年度 第 2 回富良野市社会教育委員会議

と き 令和 8 年 8 月 7 日（金） 18：00～

ところ 市立富良野図書館 2 階 多目的ホール

1. 教育長あいさつ

- ・ 本日は暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。社会教育は人づくりを支える大切な役割を担っており、単に学びの機会を提供するだけではなく、住民が自ら学び、その成果を地域コミュニティにつなげていくことも必要であると考えている。
- ・ 今回の市長の所信表明においても社会教育について触れられており、「誰もが活躍できる地域社会の実現に向け、地域に根差した生涯学習を推進するとともに、市民が主体的に参加し、自己実現や地域課題の解決に向けた多様な学びの環境づくりに努めていく」と述べられている。
- ・ 社会教育委員の皆さまは、それぞれの地域で活動されていることから、地域住民と行政をつなぐ立場としてご意見をいただきながら、社会教育を進めていきたいと考えている。
- ・ 今年度から第 2 次富良野市教育振興基本計画がスタートしている。社会教育委員の皆さまの力もお借りしながら進めていきたいので、ご協力をお願い申し上げ、挨拶とする。

2. 委員長あいさつ

- ・ 今回の会議資料を見て、青少年教育や家庭教育、博物館活動等の取組状況が詳しくまとめられており、大変参考になった。
- ・ 本日の会議では討議を通じて、今後の取組につながる意見交換ができればと考えている。
- ・ 委員の皆さまからも、ぜひ積極的なご意見をいただきたい。

2. 報告事項

- ・ 6 月 26 日（金） 全道公民館職員研修会（札幌市） （根本・日比野参加）

3. 協議事項

- （1）第 2 次富良野市教育振興基本計画に沿った社会教育事業の推進について（討議）
青少年教育・家庭教育に関わる取り組み状況について （別紙資料 1・2）
 - ・ 討議（全体）

（事務局）

資料に沿って説明

(青少年教育の視点から)

天日委員長

- ・子ども未来づくりフォーラムについて、昨年の社会教育委員会議においても高校生の参加があるとよいとの意見が出されていたが、実際に高校生が発表を行い、子どもたちにとって良い見本となっていた。
- ・また、東小学校 CS 主催の「東っ子なつまつり」では、ね〜びるのメンバーがキッズコーナーへ協力してくれており、青少年と地域との交流につながっている。

天日委員長

- ・富良野市青少年表彰について、今年度は推薦がなかったと事務局から聞いている。表彰制度の内容について検討を行い、今後につなげていくことが必要であると感じている。

遠藤副委員長

- ・富良野市青少年表彰について、制度開始当初は農業青年の表彰が中心であったが、その後、表彰対象の見直しを行い、現在の制度となっている。
- ・今年度は推薦がなかったことから、今後は表彰名称や推薦基準を見直してもよいのではないか。

事務局

- ・青少年表彰の対象年齢について、現在は 30 歳以下としている。
- ・一方で、こども未来課で策定中の「富良野市こども計画」に係るアンケート調査では、39 歳までを若者として調査対象としている。同様に、青少年表彰の対象年齢についても 39 歳以下へ見直すことについて、ご意見を伺いたい。

諸橋委員

- ・表彰対象年齢を引き上げることも一つの方法だと思う。

加藤委員

- ・職場等からの推薦については、現行規則で「活動を 3 年以上実践している者」となっているが、「1 年以上」とすることで対象者が増えるのではないか。

菊地委員

- ・青少年表彰は何回まで受けることができるのか。

事務局

- ・現行規則では、一度表彰を受けた者は再度表彰の対象とならない。

菊地委員

・部活動やサークルは構成員が変わっていくため、再度表彰できる仕組みについても検討できればよいと思う。

（家庭教育の視点から）

菊地委員

・中高生の居場所が少ないため、交流できる場所を設けてもらえないか。
・旭川市では「ユースクリニック&カフェ」があり、助産師や看護師等が運営に関わり中高生世代から25歳までの若者が、心や身体、性に関する悩みを相談したり、無料で自由に過ごしたりできる場となっている。

事務局

・過去の社会教育委員会議でも中高生の居場所について検討したことがあり、図書館に学習スペースやフリースペースを設け、現在も中高生に活用されている。
・旭川市のような居場所づくりについては、その後の運営体制等も含めて様々な検討が必要であり、現状では実施が難しいと考えている。

遠藤副委員長

・第2次富良野市教育振興基本計画がスタートしているが、社会教育分野において新たな事業や取組はあるか。

事務局

・地域学校協働活動については、コーディネート機能の強化を図るため、CS会議へ参加し、学校やCSとの連携を進める予定である。
・また、上川管内社会教育主事会南部ブロック（上富良野町から占冠村までの5市町村）と連携し、「第2回ふらの沿線e-Sports Fes」を開催する予定である。
・沿線市町村の高校や青少年団体にも企画・運営に関わってもらい、青少年の居場所づくりにもつなげていきたいと考えている。
・図書館については、中央公民館を併設していることから、公民館機能の充実を図るため、「図書館お泊まり会」を開催している。

（博物館活動の視点から）

天日委員長

・生涯学習センターの活用については、これまで社会教育委員会議においても答申や施設視察を行ってきた。
・現在は、市内全ての小学校3・4年生が社会科の郷土学習で活用しており、その点は評価している。

- (2) 令和8年度補助金交付団体（文化財保護関係団体）について （別紙資料3）
(事務局)
資料に沿って説明

4. 情報共有

- (1) こども若者の意識について
(こども計画策定事業 こども・若者アンケートより) (別紙資料4)
(事務局)
資料に沿って説明

天日委員長

・こども・若者アンケート調査結果の報告により、市内のこどもや若者、その保護者を取り巻く状況や考え方を把握することができた。こうした実態を踏まえ、今後の社会教育事業を進めていくことが重要であるとする。

5. その他

- (1) 今後の主な日程

【市外出張関係】

- 9月10日(木) 上川管内社会教育委員基礎講座 (旭川市)
○10月13日(火)～14日(水)
上川管内社教委員・公運審委員合同研修会 (占冠村)
○10月22日(木)～23日(金) 北海道公民館大会 (白老町)
(参加予定: 近内教育長・奥田課長・遠藤副委員長)
○11月12日(木)・13(金) 北海道社会教育研究大会 (稚内市)

- 次回、第3回社会教育委員会議の予定
別途で連絡予定